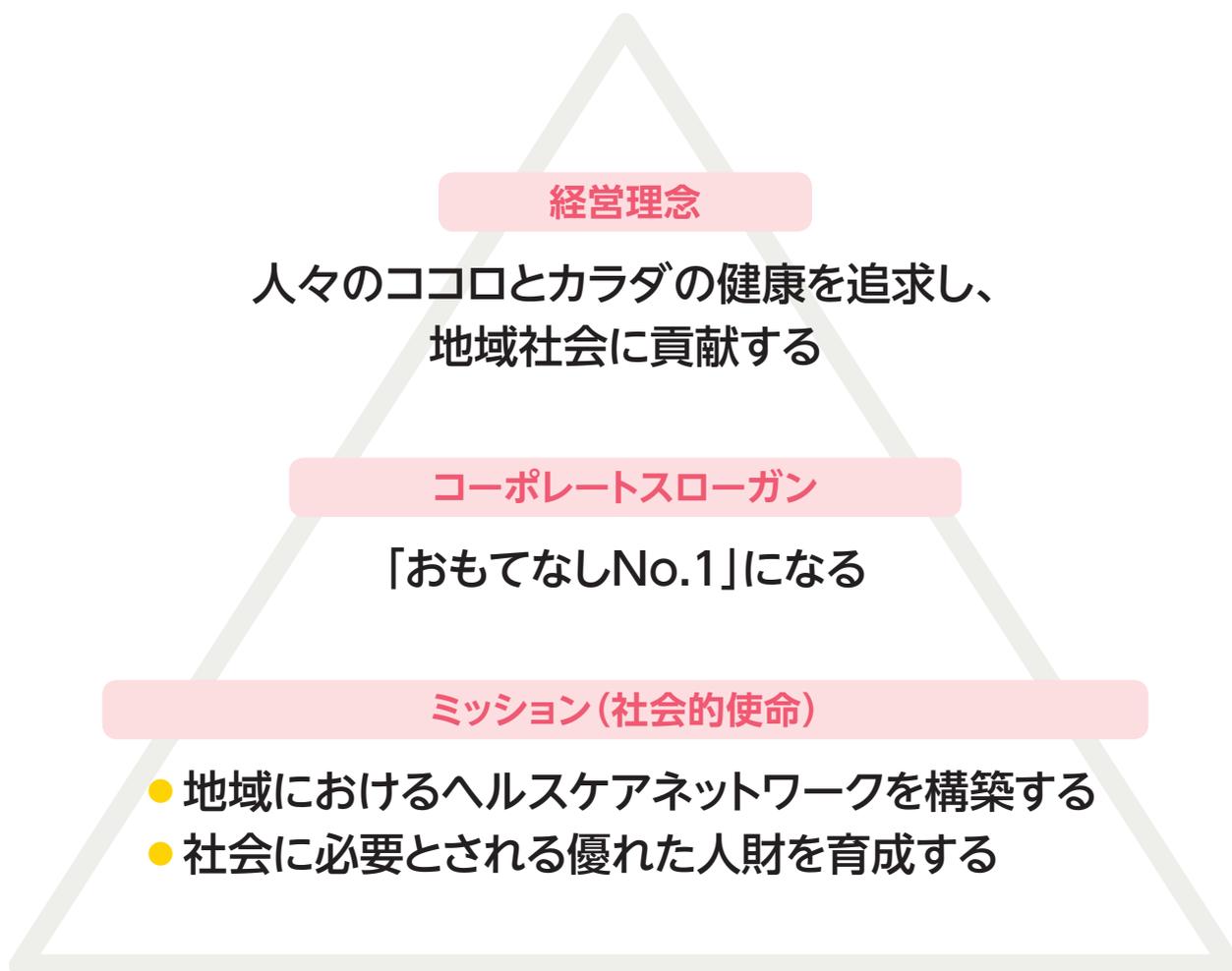




人々のココロとカラダの
健康を追求し、
地域社会に貢献する

Corporate Profile
会社案内





ココカラファイングループ

(株)ココカラファイン 持株会社





地域の皆様の 「cure (治す)、care (整える)、 fine (ゲンキ・キレイ)」を 支える企業に

代表取締役社長

塚本 厚志

当社は、全国に約1,300店舗のドラッグストア、調剤薬局を展開している企業です。私たちは単にモノを売るドラッグストアとしてではなく、誰もが健康でいきいきと暮らせる社会を実現するための「ヘルスケアネットワークの構築」を目指し、その拠点として店舗・薬局を運営し、「人々のココロとカラダの健康を追求し、地域社会に貢献する」という経営理念を実現することが、当社の社会的使命であると考えております。

近年、様々な自然災害や経済危機に見舞われた我が国では、既存の経済至上主義から脱却した温もりのある新しい社会像が求められています。また、人生100年時代を迎え、社会の高齢化が進む中で、医薬分業・面分業・保険介護など、様々な制度改革が行われ、病気の予防や軽医療、健康維持に重点を置く「セルフメディケーション時代」への本格移行が進

んでおります。これからのドラッグストアには、単に「病気になったから薬を買いに行く」という機能だけではなく、「病気を未然に防ぐ」、あるいは「健康を維持する」という機能がますます重要になってきます。

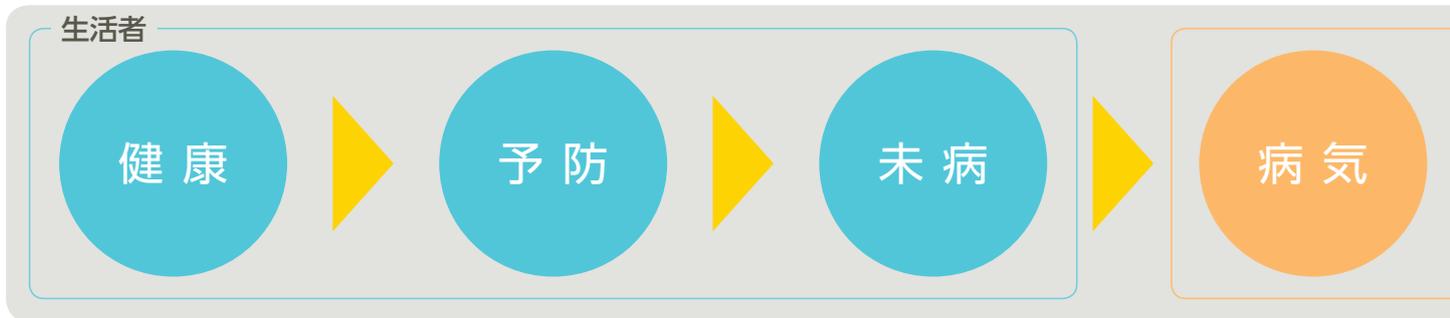
このような時代に私たちは、お客様・患者様が気兼ねなく相談ができる、“かかりつけのドラッグストア & 薬局”でありたいと考えています。地域の皆様のQOL (Quality of Life) を身近で支える企業として、当社のコア事業であるドラッグストア事業・調剤事業を軸に、介護・訪問看護事業及び地域の医療機関とも連携したヘルスケアネットワークを構築することにより、地域のお客様の「cure (キュア：治す)」「care (ケア：整える)」「fine (ファイン：ゲンキ・キレイ)」すべてをお手伝いできる企業を目指してまいります。

CONTENTS

プロフィール P2	ドラッグストア事業 P6	介護・訪問看護事業／海外事業／
社長メッセージ P3	調剤事業 P8	人材活用事業
事業領域 P4		 P10

健康の6つのステップをカバーする

▶健康の6つのステップ



ドラッグストア

- 生活習慣病などの予防
- H&BC(ヘルス&ビューティケア)に関するアンチエイジング提案

2019年3月期
小売・卸売売上高
3,386
億円

薬剤師

登録
販売者

栄養士

当社に在籍する薬剤師や栄養士、さらには一般用医薬品(OTC医薬品)の販売資格を持つ登録販売者による、豊富な専門知識に裏付けられた接客販売や健康相談、食事療法・栄養指導などを通じて、お客様の様々な悩みやニーズにお応えいたします。専門性と利便性を追求し、お客様の「cure(キュア:治す)」「care(ケア:整える)」「fine(ファイン:ゲンキ・キレイ)」をワンストップで解決できる拠点づくりを進めております。



調剤

- 健康サポート薬局
- 検体測定室
- 敷地内薬局

2019年3月期
調剤売上高
587
億円

薬剤師

調剤事業では、豊富な専門知識を備えた多くの薬剤師が、全店舗で一元化された調剤システムを活用し、安全かつ正確な調剤業務・服薬指導にあたっています。また、在宅調剤の拡大や、専門的な知識を要する敷地内薬局、認知症・糖尿病・がん患者様個々へのサポートができる専門薬剤師・専門スタッフの育成など、地域密着型の健康サポート薬局を目指して様々な取り組みを推進しております。



幅広いヘルスケアサービスを提供



介護・訪問看護

- 在宅介護
- 訪問看護
- 施設介護
- 介護用品レンタル

2019年3月期
介護売上高

31
億円

ケア
マネージャー

看護師

理学
療法士

サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなどの居住系介護サービス、デイサービスなどの通所系介護サービス、在宅介護や訪問看護などの在宅系介護・看護サービスや介護用品レンタルまで、トータルに提供しております。利用者様やご家族の方が安心して生活できる環境を整え、グループ企業が持つ様々なサービスや地域の医療機関等と連携を図りながら、利用者様のQuality of Lifeの向上を支援しております。



ココカラファインの 目指す姿

地域のヘルスケア ネットワークを構築



上の図は、2018年4月入社の新入社員が研修で作成した「ココカラファインモール」をイメージしたものです。ココカラファインの店舗を中心に、スポーツジムや託児所、医療機関や介護施設、さらには衣・食・住すべてにおいて一体化した「ヘルスケアネットワーク」を構築し、お年寄りから新生児まで、すべての世代が安心して生涯を過ごせる環境を実現することを目指しています。それはココカラファインだけの力ではできません。ヘルス&ビューティの分野で地域のお客様・患者様のニーズやお悩み、そのすべてにお応えできるよう、当社が中心となり地域連携して初めて、「ココカラファインモール」が実現できるのです。その理想に向けて、まずはコア事業であるドラッグストア・調剤薬局が、「いちばん最初に相談できる場所」でありたいと考えています。

ドラッグストア事業

事業内容 ● 一般用医薬品を中心に、健康・美容に関する商品の販売

1,300店舗を展開する業界有数の事業基盤

ココカラファイングループのコア事業であるドラッグストア事業を手がけるのが、株式会社ココカラファインヘルスケアと株式会社岩崎宏健堂。全国に約1,300店舗の拠点をもち、業界トップクラスの店舗数を活かし、スケールメリットを最大限に発揮するとともに、エリアに密着したきめ細かなマーチャダイジングを展開することで、さらなる事業基盤の増強を図っております。「アクセス(いつでも・どこでも・どなたでも)」と「サービス(お客様のご要望に応える)」を提供することで、お客様に満足していただけるような店舗づくりを目指しています。



各地で根付いてきたドラッグストアが一丸となって全国展開

セイジョー、ドラッグセガミ、ジップドラッグ、ライフオート、スズラン薬局と子会社である岩崎宏健堂など、元々地域に密着して営業してきたドラッグストア各社が、「人々のココロとカラダの健康を追求し、地域社会に貢献する」という経営理念のもとに集まり、より大きなシナジーを生み出しています。また、ブランディング向上に向けて、ココカラファイン看板へのリニューアルも同時に進めています。

来店者ニーズに応える地域密着型の店舗運営

ココカラファイングループは、個々のお客様に必要とされる店舗を目指し、地域に密着した店舗づくりを進めています。全国の店舗を「都市型」、「商店街型」、「住宅地型」、「郊外型」と4つのクラスターに分類し、地域の特性に根差したマーチャダイジングやレイアウト、オペレーションの最適化モデルを構築し、それぞれの形態に合わせたきめ細かな販売促進や品揃えを実現する取り組みを進めています。



事業の特長

特長

1

専門性の高いスタッフの育成

ココカラファイングループの特長は、豊富な専門知識に裏付けられた接客販売に重点を置いた付加価値の高いサービスを提供していることにあります。その仕組みとして「ココカラヘルスキャンペーン」と銘打ち、従業員自らが研修などで健康に対する知識を深め、その知識をお客様・患者様に提供するという活動を推進しています。その活動が認められ、「健康経営優良法人 2019(ホワイト 500)」に認定されました。ヘルス&ビューティケア関連商品を中心に、幅広い品揃えとおもてなしでお客様のニーズにお応えしており、低価格志向のドラッグストアとは一線を画しております。



特長

2

ニーズに応えるPB商品を展開

専門的な知識でのカウンセリングに強みを持つグループの特長を活かし、お客様のお悩みやニーズに応えるPB商品を開発することで、競合他社との差別化を図っております。お客様の肌のお悩みを受け、特許技術を持つ九州大学と産学連携で開発し、累計140万個を超える販売実績を誇る化粧品「VIVCOシリーズ」や、界面活性剤フリーの化粧品「ディアパーフェクトシリーズ」など高付加価値の商品開発を進めています。



特長

3

Webサイト・アプリなどITの効果的活用

スマートフォンやタブレット型端末など、多種多様なデジタル環境に対応したタッチポイントを整備しています。当社のECサイト「ココカラクラブ」で購入した商品を近隣の店舗で受け取ることができる「店舗受取サービス」や、アマゾンプライムナウへの出店など、お客様の利便性を高めるサービスを提供しています。また、公式アプリ会員に向けたより効果的な販売促進や情報提供など、お客様に寄り添うOne to Oneマーケティングを進めています。



特長

4

世界中で利用できるプリペイド機能を備えたカード

2013年4月に発行を開始した会員カード「ココカラクラブカード」は、ポイント機能だけではなく、世界中のVISA加盟店で利用できるプリペイド機能を兼ね備えています。お客様に「ロイヤルカスタマー」になっていただくために、購入内容に応じた各種サービスの提供や、お客様のライフスタイルに合わせた様々なアプローチを可能にし、お客様の満足度向上と販売促進戦略を同時に叶えるカードとなっております。



調剤事業

事業内容 ● 医師の処方せんに基づく調剤および医薬品等の販売

地域密着の健康サポート薬局づくりを推進

ココカラファイングループは、医薬分業時代の本格的な到来を見越して、ドラッグストア業界でもいち早く調剤事業に取り組んでまいりました。長い年月をかけて安全・確実な調剤サービスを提供してきた結果、調剤報酬はドラッグストア業界でもトップクラスの実績を誇っております。高齢化が進む中で、調剤薬局に求められる機能は多様化しています。当社が目指す「ヘルスケアネットワークの構築」の起点となるべく、患者様・お客様の最初の窓口となるような薬局づくりをしています。

※出典：ドラッグマガジン2019年7月号



ドラッグストア薬局
ランキング[®]
健康サポート薬局数

第1位

調剤報酬額、
調剤事業売上比率とも
業界トップクラス



● 健康サポート薬局
店舗数

2018年
3月末
6店舗

2019年
3月末
26店舗

2022年
目標
100店舗



ヘルスケアネットワークの一翼を担う

セルフメディケーション時代を支える「健康サポート薬局」を目指し、調剤専門店はもちろん、ドラッグストアに調剤薬局を併設した「ドラッグ&調剤」店舗の出店や、在宅で療養される患者様への調剤サービス、ジェネリック医薬品の使用提案や拠点数の拡大、24時間対応などへの取り組みもいっそう強化する方針です。当社の調剤薬局は、単に調剤サービスを提供するだけではなく、健康増進に役立つ物品の販売、検体測定室の設置や健康相談会の実施などを通じて、処方せんがなくても気軽に立ち寄れる薬局として、患者様に対し様々な価値を提供してまいります。

専門的な知識を要する敷地内調剤薬局への取り組み

当社は、地域の皆様のQuality of Life向上に貢献できる企業となるべく、認知症・糖尿病・がん患者様個々へのサポートができる専門薬剤師・専門スタッフを育成し、地域の医療や介護など幅広い関連業界とのヘルスケアネットワークの構築を推進しております。その強みを活かし、より専門的な知識を要する敷地内薬局への出店を進めております。医薬品や日用品の販売もあり、当社のスケールメリットを活かした敷地内薬局の展開を進めてまいります。



事業の特長

特長
1

患者様に合わせたサポートができる 専門薬剤師・専門スタッフ

ココカラファイングループの薬剤師は、専門的な社内研修やe-ラーニングを利用し研鑽に努めています。特に糖尿病対策に注力しており、糖尿病サポーター研修では、専門家による研修を複数回実施し、修了したスタッフは「糖尿病サポーター」のバッジをつけて接客し、糖尿病の薬物治療の相談をはじめ、食後高血糖のリスクや糖尿病予防・合併症予防の啓発活動を、地域や店舗で積極的に行っています。



特長
2

ICTの活用や新しい取り組みへの参画

全国すべての薬局で利用できる「ココカラファインお薬手帳アプリ」をリリースしています。処方せんをスマートフォンで撮影し、画像をお好きな薬局へ送信して予約。お薬ができたらアプリを通じて連絡が届くので、時間を無駄にせずお薬が受け取れます。また、ドラッグストア企業では初の試みとして、福岡県福岡市にて「国家戦略特別区域法を活用した遠隔服薬指導事業」の事業登録者の認可を受け、遠隔服薬指導を開始。患者様の利便性向上のため、新しい技術を積極的に取り入れています。



特長
3

地域医療と連携した「在宅調剤」に注力

薬剤師が患者様のご自宅に訪問し、薬の説明や服薬指導等を行う在宅調剤。医師や看護師と連携を取りながら、患者様の服薬状況を把握し適切なアドバイスや残薬管理などを行います。ココカラファイングループでは、全国200拠点以上で在宅調剤に対応。地域の病院や介護施設などと連携し、誰もが生まれ育った場所で健やかに暮らし続けるためのお手伝いをしています。



特長
4

調剤サービスにとどまらない付加価値の提供

ココカラファイングループ全国約300店舗の調剤薬局で、定期的に健康相談会や骨の健康チェックなど様々な無料健康イベントを年間でおよそ1,000回以上実施しています。薬局内に自由に利用できる測定器具を設置している店舗もあり、地域の皆様の健康への意識づけの機会となっております。



介護・訪問看護事業

事業内容 ● 介護及び訪問看護に関するサービスの提供

高齢社会の大きな課題である「在宅医療の受皿構築」に向けて事業拡大

病院での入院期間が短くなり、通院治療や在宅療養が求められる時代。誰もが自宅で安心して暮らせるよう、グループに所属する薬剤師・看護師・ケアマネージャー・理学療法士・作業療法士・介護福祉士が互いに協働し、さらに地域の医療機関や訪問医、地域包括支援センターなどとの連携を図ることで、質の高いチーム医療・介護を提供しています。(株)ファインケアでは、居宅介護サービスや機能訓練型デイサービスを併設した訪問看護ステーション、医療連携が充実したサービス付き高齢者向け住宅など、利用者様・ご家族様のニーズに応える質の高いケアを提供しています。2017年には(株)愛安住がグループに加わり、福祉用具の販売・レンタルや住宅改修など、さらに広範囲の介護サービスの提供が可能となりました。



海外事業

事業内容 ● 海外での店舗展開と日本商品、海外商品の輸出入事業及び販促

大きな成長が期待される東アジア地域への卸売(輸出入)事業の推進

中国をはじめとする東アジアでは、経済成長とともに所得も増加傾向にあることから、今後、日本製品市場の拡大が見込まれます。当社では、さらなる成長が期待される東アジアへの事業展開を積極的に進めております。現在は、中国やタイにおいても輸出入事業を展開しており、各地域の拠点が連携しながら、アジア地域でのココカラファインの存在感を高めてまいります。



人材活用事業

事業内容 ● 多様な人材の雇用及び新規事業

多様な人材の活躍を推進しコア事業の持続的成長をサポート

ダイバーシティの考えのもと、それぞれの人材が持っている能力を発揮できる雇用環境を整備し、一人ひとりのワークライフバランスの実現を図っております。資格者(薬剤師・登録販売者)の派遣や様々な業務受託を通して、グループの店舗運営及び事務業務をサポートしています。障がい者雇用については、特例子会社を設立し、安心して就労できる環境と可能性を十分に発揮できる就労機会を確保することで、社会の要望・期待に応えております。



NEWS

1

敷地内薬局を2店舗出店

当社の調剤事業の専門性を活かした病院の敷地内薬局を2店舗出店しました。医薬品や日用品などの物販機能もあり、当社のスケールメリットを活かした薬局です。

和泉市立総合医療センター店
(2018年4月2日OPEN)



大阪国際がんセンター店
(2019年3月1日OPEN)

NEWS

2

「スポーツクラブアクトスWill_G」がオープン

2018年12月、株式会社パローホールディングスの子会社である株式会社アクトスが展開している「スポーツクラブアクトスWill_G」を当社の日進香久山店(愛知県)の2階にオープンしました。



NEWS

3

「電子タグを用いた情報共有システムの実験」に参加

清澄白河店(東京都)において、経済産業省主催のダイナミックプライシングと広告最適化の実証実験に参加しました。実験対象商品に貼られた電子タグから取得した情報を共有し、食品ロスの削減などの社会課題を解決することが目的です。

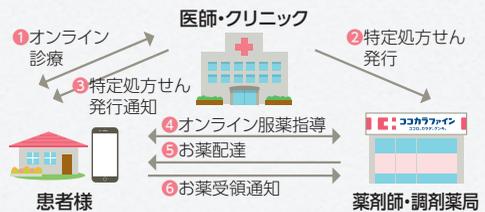


NEWS

4

福岡市で遠隔服薬指導を開始

患者様の利便性向上への取り組みとして、福岡市の国家戦略特区にて、ドラッグストア企業初の遠隔服薬指導事業の事業登録者の認可を受け、奈多店にてオンラインによる遠隔服薬指導を開始しました。



NEWS

5

「東京ガールズコレクション 2019」に初出展

「日本のガールズカルチャーを世界へ」をテーマに、2005年から年2回開催している史上最大級のファッションフェスタに、株式会社資生堂様と化粧品体験ブースを共同出展。当社の従業員のアドバイスによるメイク体験コーナーや公式アプリの紹介をしました。



NEWS

6

「Revirsia」のインバスラインをリニューアル

2015年に発売した、髪のセラチンに着目したヘアケアシリーズ「Revirsia」。2018年11月、インバスラインをパワーアップしてリニューアル。新たに黒真珠エキスを追加。さらに海由来の美容成分を従来の2倍配合し、痛みがちな髪を芯から補修し、生まれ変わったような上質なツヤ髪へと導きます。





人々のココロとカラダの健康に 資する取り組みを様々な場面で展開

私たちは、お客様、株主様、お取引先様、従業員、地域社会など様々なステークホルダーの皆様に対して、「人々のココロとカラダの健康を追求し、地域社会に貢献する」という経営理念、および「おもてなしNo.1になる」というコーポレートスローガンに基づいて事業を営むことが、経営およびCSR活動の基本であると考えています。

※SDGsとは…2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された、世界が抱える問題を解決し、持続可能な社会をつくるための2016年から2030年までの国際目標

「健康経営優良法人 2019 (ホワイト 500)」に認定



2019年2月、経済産業省と日本健康会議が共同で選出する「健康経営優良法人2019 大規模法人部門(ホワイト500)」に認定されました。経営理念実現に向けて、まず全従業員が正しい知識と対処法を身につけて自身や家族の健康増進に努め、お客様に対して全従業員が正しい知識や方法をお伝えしていくという企業活動が認められました。

全国各地で地域健康増進イベントを開催



当社は、全国各地で健康増進イベントを開催しています。骨の健康チェックや血糖値などの測定、健康相談、美容セミナーなどを体験できる大規模イベントから、店舗で気軽に参加できる健康相談会などを実施し、地域の方々のセルフメディケーションの啓発活動に努めています。

こどもおくすり教育を推進

未来を担う子ども達への教育支援活動として、「キッズニア甲子園」への薬剤師体験のパピリオン出展や、株式会社朝日新聞社様の教育支援プロジェクト「おしごと年鑑2019」に参画し、ドラッグストアがお客様・患者様のココロとカラダをゲンキにする医療拠点であることを理解してもらおうと同時に、医療を身近に感じ、セルフメディケーションの大切さを学べる場所を提供しています。



環境省「Re-Style」のパートナー企業に



2019年3月、環境省による循環型社会のライフスタイル推進の取り組み「Re-Style」のパートナー企業となりました。官民一体となり3R(リデュース:省資源、リユース:再利用、リサイクル:再生利用)への理解や、限りある資源の大切さを広く伝え、「循環型社会」の実現に向けた活動に協力していきます。



糖尿病予防への取り組み

お客様に向けた取り組み

地域の皆様の健康増進の一環として、糖尿病対策に力を入れています。店頭での商品販売だけでなく、イベント等での血糖値測定会や調剤薬局への検体測定室の設置、糖尿病研究への学術支援など様々なかたちで糖尿病予防に取り組んでいます。



従業員に向けた取り組み

当社は「ココカラヘルスカンペーン」として、全従業員が専門知識を深める取り組みを進めています。糖尿病の専門家による研修会や店舗で販売している尿糖試験紙の使用体験、従業員の血糖値測定会を実施するなど、従業員自らが糖尿病予防を意識することで、お客様・患者様への提案力を強化しています。



CORPORATE PROFILE

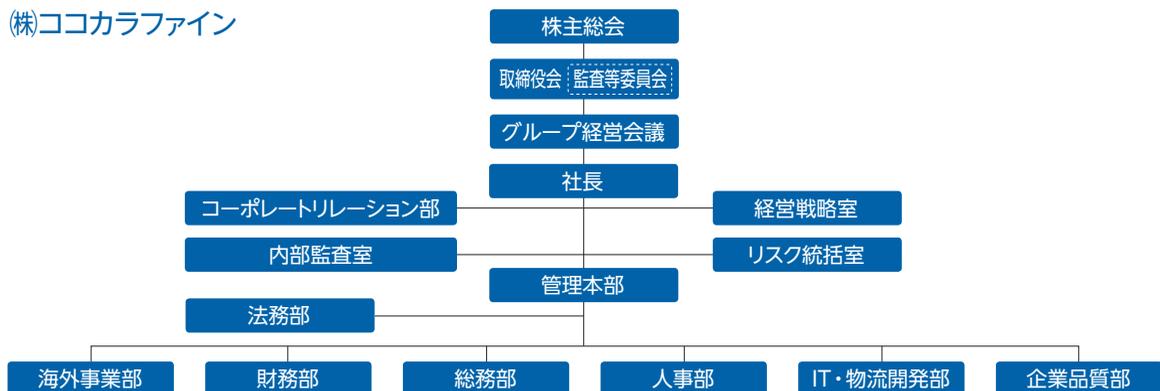
会社概要

名称	株式会社ココカラファイン			
事業内容	ドラッグストアチェーンの運営等を行う子会社及びグループ会社の経営計画・管理ならびにそれに付随する業務			
本社所在地	〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-17-6 イノテックビル Tel. 045-548-5929			
設立日	2008年4月1日			
資本金	10億円			
役員	代表取締役社長	塚本 厚志	社外取締役	河合 順子
	取締役副社長	山本 剛	社外取締役(常勤監査等委員)	坂本 朗
	取締役	富田 孝行	社外取締役(監査等委員)	鳥居 明学
	社外取締役	谷間 真	社外取締役(監査等委員)	橋本 学

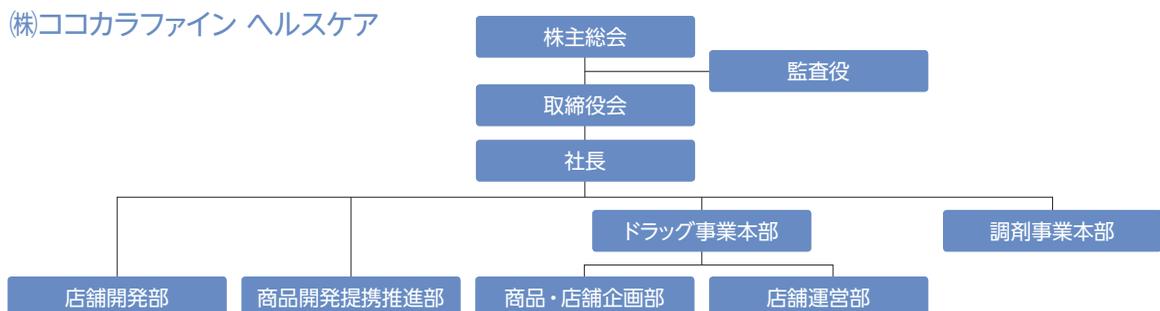
- グループ会社**
- 株式会社ココカラファイン ヘルスケア
〒222-0033
神奈川県横浜市港北区新横浜3-17-6
イノテックビル
Tel. 045-548-5996
 - 株式会社岩崎宏健堂
〒745-0882
山口県周南市下一の井手5636-5
Tel. 0834-22-8980
 - 株式会社小石川薬局
〒160-0023
東京都新宿区西新宿一丁目西口地下街1号
 - 株式会社ファインケア
〒336-0025
埼玉県さいたま市南区文蔵2-2-1
デイリーケアセイジヨ 南浦和西口店2階
Tel. 048-710-6750
 - 株式会社愛安住
〒518-0033
三重県伊賀市大野木2112番地28
Tel. 0595-20-1781
 - 株式会社ココカラファイン アソシエ
〒183-0045
東京都府中市美好町2-12-2
Tel. 042-402-5186
 - 株式会社ココカラファイン ソレイユ
〒183-0045
東京都府中市美好町2-12-2
Tel. 042-402-6158
 - 株式会社シーエフエナジー
〒222-0033
神奈川県横浜市港北区新横浜3-17-6
イノテックビル
Tel. 045-548-5255

組織図

(株)ココカラファイン



(株)ココカラファイン ヘルスケア



(2019年4月1日現在)

沿革

- 2008年 4月 セガミメディクス(株)と(株)セイジョーが経営統合し、株式移転により(株)ココカラファインホールディングスを設立。
- 2010年10月 (株)アライドハーツ・ホールディングスと合併し、(株)ココカラファインへ商号変更。本社を神奈川県横浜市へ移転。
- 2012年11月 新潟県を中心とする甲信越・東北エリアでドラッグストア・調剤事業を展開する(株)コダマの全株式を取得、子会社化。
- 2013年 4月 子会社の(株)セイジョー、セガミメディクス(株)、(株)ジップドラッグ、(株)ライフオート、(株)スズラン薬局、(有)メディカルインデックスの6社が合併し、(株)ココカラファインヘルスケアが誕生。
- 2013年11月 (株)岩崎宏健堂の全株式を取得、子会社化。
- 2014年 7月 調剤薬局大手のクオール(株)と業務提携。
- 2014年12月 障がいのある方々の雇用機会拡大を目的とした子会社(株)ココカラファイン ソレイユを設立。

- 2017年 9月 三重県で福祉用具の販売・レンタル、住宅改修等を展開する(株)愛安住の株式を取得、子会社化。
- 2018年 1月 スーパーマーケット、ドラッグストア、ホームセンターなどを展開する(株)バローホールディングスと業務提携。
- 2018年 4月 生活習慣病の重症化予防サービスを開発・運営するメドケア(株)と資本提携。
- 2018年 9月 グループ企業へ電力販売を行う子会社(株)シーエフエナジーを設立。
- 2019年 2月 調剤薬局を運営する(株)小石川薬局を子会社化。

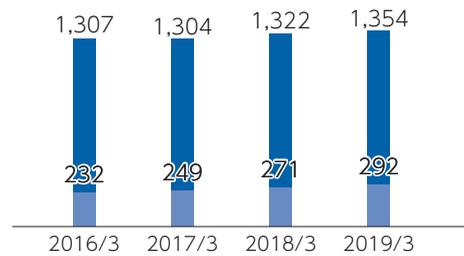
事業展開エリア

※店舗数は2019年3月31日現在



店舗数(期末店舗数)

■ 店舗数(店) ■ うち調剤取り扱い店舗数(店)

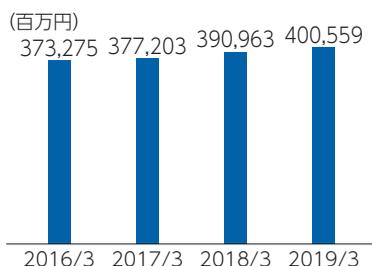


海外

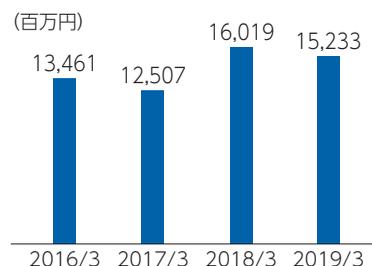
- ・ BJC & CF(Thailand)Co., Ltd. (合併会社) タイ Bangkok
- ・ その他東アジア地域を中心に商品供給事業を展開

業績ハイライト

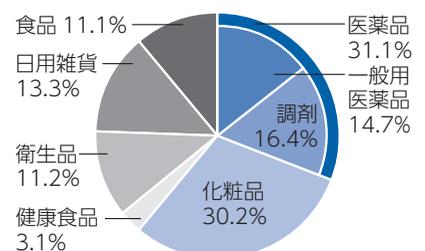
売上高



経常利益



商品分類別売上高構成比(2019/3)





ココカラファイン

ココロ、カラダ、ゲンキ。

ブランドの由来

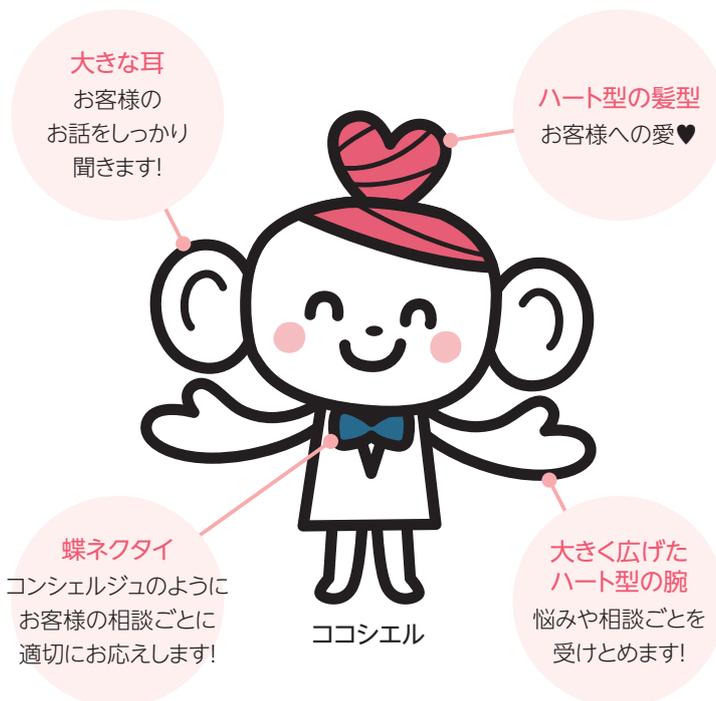
「皆様のココロとカラダをゲンキにしたい」、この想いからココカラファインというブランドが誕生しました。また、英文のCOCOKARAの「COCO」には、様々なステーキホルダーの方々と「ともに (Co-Work)」新しいことに挑戦し、「ここから始まる」という意味も含んでいます。

ロゴマークについて

「いきいきとした」「親しみのある」「心地よい」の3つを基本に、ブランドロゴデザインを開発しました。心地よい安心感を与えるブランドカラー「Cコーラル」で表現されたシンボルマーク「Cコロ」は、ブランドの頭文字の「C」と、“すなわち”をあらわす「:(コロ)」の組み合わせで構成。また、「C」と「:」の間に見える白十字は、医薬品を取り扱う企業として、お客様に約束する安心・安全・信頼を表しています。

イメージキャラクター

「ココカラファインがコンシェルジュのようにおもてなしをします!」という想いで誕生いたしました。



ココカラファイン・アプリのご案内

- スマートフォン向け公式アプリ
アプリ限定クーポンや
キャンペーン情報をゲット!



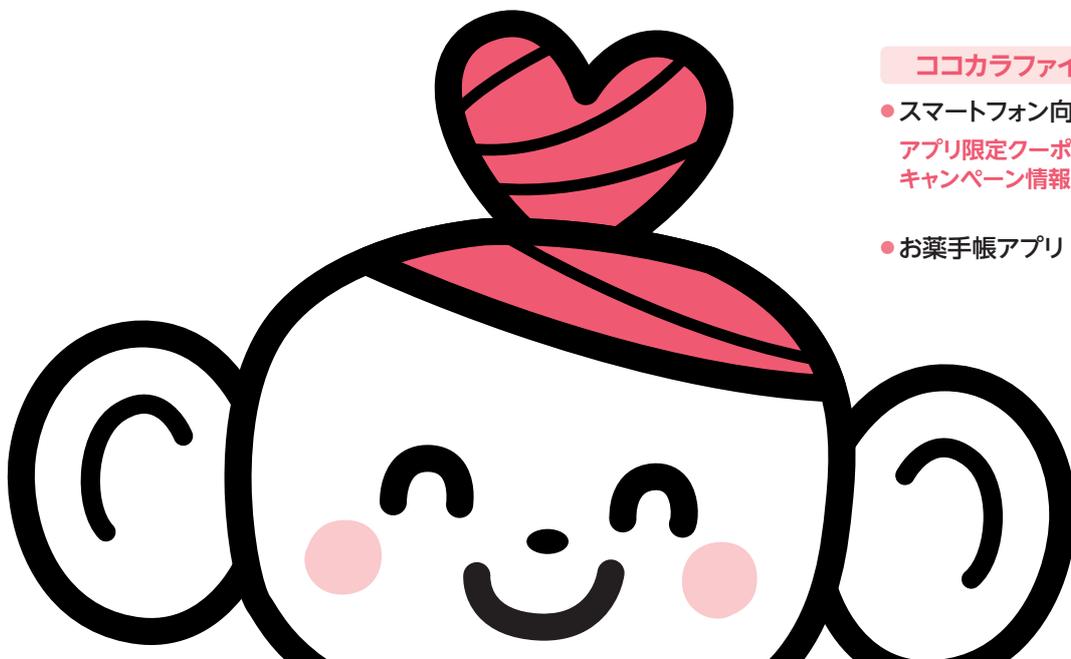
- お薬手帳アプリ



iPhone®用



Android™用





ココカラファイン
ココロ、カラダ、ゲンキ。